

市場概要

令和2年度



郡山市総合地方卸売市場

目 次

1	郡山市の概要	1
2	郡山市総合地方卸売市場の役割	3
3	市場の沿革	3
4	市場施設の概要	5
5	市場の構成者	6
6	市場の流通圏域	6
7	開場日・開場時間	7
8	市場見学者	7
9	組織図・事務分掌	8
10	市場運営協議会	9
11	入場業者及び団体	10
12	令和2年度郡山市総合地方卸売市場特別会計予算	11
13	市場施設使用料	12
14	部門別・年度別取扱高推移表	13
15	令和元年度取扱実績	15
16	令和元年度市場利活用促進事業	22

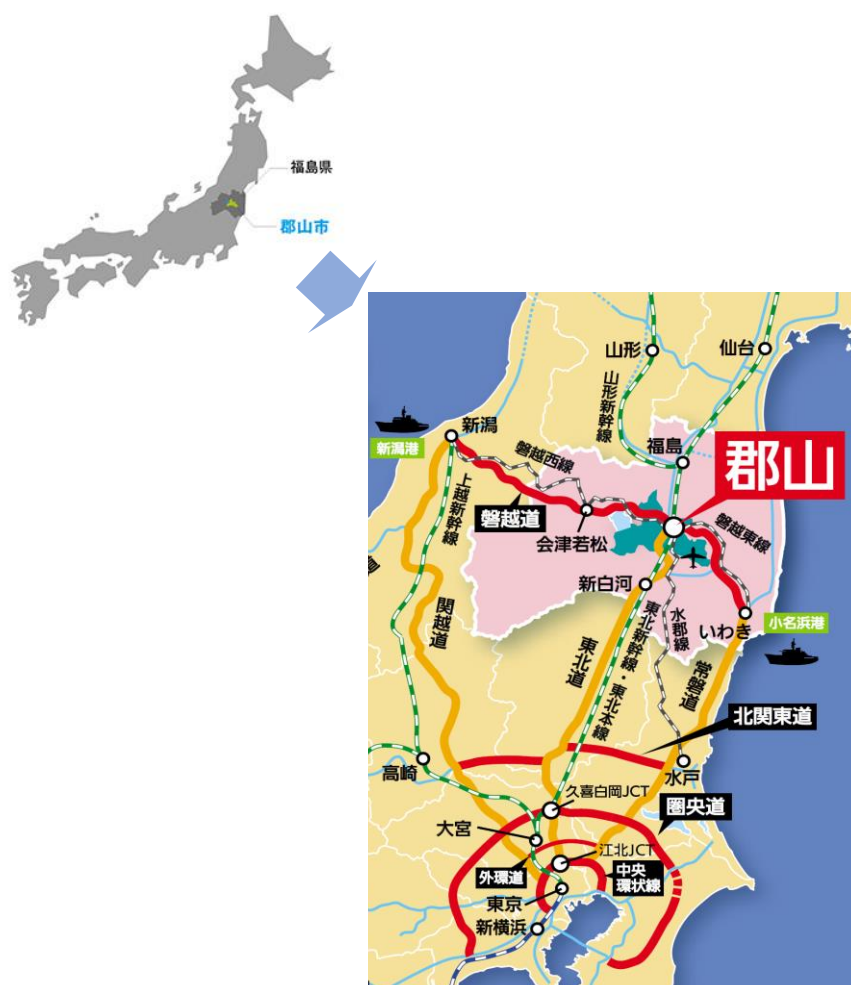
1 郡山市の概要

(1) 郡山市はこんなまち

福島県の中央に位置し、東北地方で仙台、いわきに次いで第 3 位の人口規模を誇る、東北の拠点都市です。

首都圏から東北新幹線で約 80 分というアクセスの良さに加え、鉄道や東北・磐越両自動車道が縦横に交差するなど、交通の利便性が良いことから「陸の港」とも称され、「人」「モノ」「情報」が集まる中核市、そして経済県都として発展を続けています。全国各地へのアクセス性に優れ、充実した都市基盤など、魅力は尽きません。

今なお、東日本大震災や原子力災害が市民生活に影響を及ぼす中、復興に向けて着実に歩みを進め、2018 年 2 月には県内初のセーフコミュニティ国際認証を取得、2019 年 7 月には、自治体による SDGs の達成に向けた優れた取り組みを行う都市として「SDGs 未来都市」に選定されるなど、将来世代につなぐ持続可能なまちづくりに取り組んでいます。



(2) 市章



郡山市の市章は「山」の字の小篆（しょうてん）を図案化したもので、藩政時代から郡山代官支配下の「郡山」の標識として長い間使用されてきたものです。

(3) シンボルマーク



郡山の「郡」の文字を力強くデザインしており、中心の円は、「輝く太陽」、楕円は郡山市の「豊かな緑が映る猪苗代湖」を表し、流れる青いラインは「安積疏水」、緑のラインはそれによって育まれる「自然」を表しています。

(4) 市の花・木・鳥

郡山市の花：ハナカツミ



芭蕉の「奥の細道」の昔から伝統的な花として親しまれ、清楚な趣をそなえた、心にうるおいを与えるまちづくりにふさわしい花です。

郡山市の木：ヤマザクラ



樹齢が長く雄々しく強い樹木で、緑化促進木として緑あふれるまちづくりにふさわしい木です。

郡山市の鳥：カッコウ



鳴き声そのまま鳥名になったカッコウ。野鳥の生息地に多く渡来し、自然保護の象徴ともいえる、緑のまちづくりにふさわしい鳥です。

2 郡山市総合地方卸売市場の役割

地方卸売市場は、卸売市場法に基づき開設された日常生活に不可欠な野菜、果実、魚介類などの生鮮食料品や花きを取り扱う卸売市場で、海外を含め各地から集荷されたさまざまな商品が、卸売等により小売店や飲食店などへ販売され、一般の消費者へ届けられています。

郡山市総合地方卸売市場は、福島県中央部の人々の拠点市場として建設された、全国の公設地方卸売市場において、最大の施設規模を誇る郡山市営の総合卸売市場です。

郡山市総合地方卸売市場は、流通圏域において、次の5つの機能を担っています。

(1) 集荷及び分荷機能

豊富な品揃えと速やかな仕分けが行われます。

(2) 価格の適正化機能

公開取引による公平な競争、需要と供給に基づく公正な価格形成が行われます。

(3) 流通の円滑機能

生産者の販売の提供、迅速かつ確実な代金決済が行われます。

(4) 市民生活の安定機能

新鮮で安全な品物の安定供給が行われます。

(5) 情報の発信機能

需給に関する情報を収集して、産地や小売店などへ伝達されます。

3 市場の沿革

旧市場は、昭和45年に郡山市が開設者となり郡山市中央市場の名称で、現在のJR郡山駅に近い富久山町に開場しました。

昭和47年には郡山市地方卸売市場と改称し、郡山市の生鮮食料品流通の中核基地として業務を行ってきましたが、施設が老朽化、狭あい化し、市場周辺の道路も慢性的な交通渋滞が発生していたことから、早急な施設の整備拡充及び移転の必要に迫られるようになりました。

平成3年12月、郡山市市場整備促進検討委員会を設置し、新市場の検討を始め、平成8年12月、新市場は第6次福島県卸売市場整備計画に地域拠点市場として組み込まれました。

平成11年3月、これからの高速物流時代を考慮して東北自動車道郡山南インターチェンジから約3分に位置する大槻町の現在地において新市場の建設工事に着手、平成13年12月施設建設工事竣工、平成14年4月1日郡山市を中心に周辺30市町村（開場当時）約67万5千人を対象に青果、水産物及び花きを供給する「郡山市総合地方卸売市場」が開場しました。

市場の略年表

昭和45年 4月	郡山市が開設者となり、「郡山市中央市場」を富久山町に開場
昭和47年 9月	「郡山市地方卸売市場」に改称
平成3年12月	「郡山市市場整備促進検討委員会」が設置され新市場の検討を開始
平成4年12月	郡山市内の9卸売業者が「郡山市新総合卸売市場整備促進協議会」を設立
平成5年 3月	郡山市新総合卸売市場整備促進協議会が発展的に解消し須賀川市内の5卸売業者を加えた「県中地区新総合卸売市場整備促進協議会」を設立
平成8年12月	「第6次福島県卸売市場整備計画」に新市場を地域拠点市場として整備することが組み込まれる
平成11年 3月	施設建築物工事着工
8月	県中地区新総合卸売市場整備促進協議会が発展的に解消し新市場入場予定業者で構成する「仮称郡山市総合地方卸売市場入場準備協議会」設立
平成13年12月	「郡山市総合地方卸売市場条例」可決、施設建築物工事竣工
平成14年 4月	郡山市農林部内に「総合地方卸売市場管理事務所」を設置し、「郡山市総合地方卸売市場」を開場
9月	第1回市場まつり開催
10月	常陸宮両殿下御視察
平成16年 9月	郡山市制施行80周年・合併40年記念第4回市場まつり開催
平成18年12月	第1回市場の朝市開催
平成21年 9月	市場開放として「市場の朝市」を毎月開催
平成25年 2月	開場10周年記念市場まつり開催
7月	学識経験者らで構成する「市場あり方検討会」を設置し、市場の運営及び市場資産の有効活用などについて協議
11月	第50回記念市場の朝市開催
平成26年 9月	郡山市制施行90周年・合併50年記念第60回市場の朝市開催
平成27年 9月	「市場あり方検討会」から市場資産の活用及び指定管理者の導入などについての提言書が提出される
平成28年11月	「第9次福島県卸売市場整備計画」において「地域拠点市場」に位置づけられる
12月	4ヶ年計画で卸売場の照明のLED化に着手
平成29年 9月	開場15周年記念市場まつり開催
平成30年 1月	第100回記念市場の朝市開催
3月	郡山市総合地方卸売市場経営展望の策定
令和元年10月	使用料の改定（売上高使用料を廃止し施設使用料（面積割）に一本化、減免措置の廃止）
令和2年 3月	新型コロナウイルス感染症の影響により「市場の朝市」の開催を中止
3月	卸売市場法の抜本的改正を踏まえ、郡山市総合地方卸売市場条例を改正（施行日：令和2年6月21日）

4 市場施設の概要

- (1) 名称：郡山市総合地方卸売市場
- (2) 開設者：郡山市
- (3) 住所：郡山市大槻町字向原 114 番地
- (4) 取扱品目
 - ・青果部：野菜、果実及びこれらの加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
 - ・水産物部：生鮮水産物及びその加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
 - ・花き部：花き及びその加工品を主たる取扱品目とし、規則で定める生鮮食料品等を従たる取扱品目
- (5) 施設の規模
 - ・敷地面積 196,442 m²
 - ・建築面積 34,532 m²
 - ・延床面積 41,312 m²
 - ・卸売場面積 12,919 m²
 - ・構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造
- (6) 施設・設備の特徴
 - ① 市場敷地内は、緑をふんだんに取り入れ、環境や景観へ配慮することにより、憩いと安らぎを感じることができる空間を形成しています。
 - ② 青果・水産・花きの各棟では、動力を使用せずに人力でシャッターを開閉できるオーバースライダーを導入し、売場上部にはハイサイドライトを兼ねた自然換気システム(スウィンドウ)を設け、自然の力を積極的に取り入れた、環境に優しく、併せてランニングコストの低減を図る工夫をしています。

また、人と構内車両を考慮した明確な売場道線を設けることで、市場内の安全性を確保し、水産棟には「低温売場」、「低温加工所」や花き棟には温度を一定に保つ「定温倉庫」を設置し、品質管理や衛生面に万全の体制を整えています。
 - ③ 場内 LAN (構内通信網) システムを整備し、市況データの収集や表示に活用しています。
 - ④ 市場内の省電力化を図るため、平成 28 年度から 4 ヶ年計画で、卸売場照明を LED 化しました。

また、開場から 18 年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、平成 31 年度より年次計画で冷凍・冷蔵設備、空調設備等の改修を進めています。
 - ⑤ 市場経営の安定化と新たな B to B ビジネス構築による市場活性化を推進するため用地の活用を積極的に進めています。

5 市場の構成者

- (1) 開設者：県知事の認定を受け、地方卸売市場を開設し、公正な取引のための指導・監督及び市場施設の維持管理をする者(郡山市)
- (2) 卸売業者：市長の許可を受け、出荷者から委託された品物又は自ら買い付けた品物を市場内でせり売等により仲卸業者や買受人に販売する者（青果部 3 社・水産物部 1 社・花き部 1 社）
- (3) 仲卸業者：市長の許可を受け、卸売業者から買受けた品物を小口に分け買受人に販売する者（青果部 5 社・水産物部 6 社・花き部 1 社）
- (4) 買受人：市長の承認を受け、市場内でせり売に参加し、卸売業者や仲卸業者から品物を買受ける者（青果部 346 人・水産物部 274 人・花き部 128 人・合計 748 人）
- (5) 関連事業者：市長の許可を受け、市場機能充実に図り市場利用者に便益を提供するための業務を営む者（17 社）

(業者数及び買受人数は令和 2 年 4 月 1 日現在)

6 市場の流通圏域

- (1) 流通圏域 22 市町村
 - ・ 福島県中部 12(郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、田村郡、石川郡)
 - ・ 〃 西部 1(猪苗代町)
 - ・ 〃 南部 8(白河市、西郷村を除く西白河郡、東白川郡)
 - ・ 〃 北部 1(本宮市)
- (2) 供給対象人口 約 69 万人（令和 2 年 4 月 1 日現在）

7 開場日・開場時間

(1) 市場は、次に掲げる日を除き毎日開場する。

- ① 日曜日（1月5日及び12月27日から12月30日までの日曜日を除く）
- ② 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- ③ 1月2日から1月4日まで及び12月31日
- ④ 市長が市場業務の運営上特に必要があると認めるときは、休場日に開場し、又は休場日以外の日に休場することができる。

(2) 開場時間

午前零時から午後12時まで

(3) 販売開始時刻（セリ開始時刻）

- ・ 水産物部：午前6時
- ・ 青果部：午前7時
- ・ 花き部：午前9時

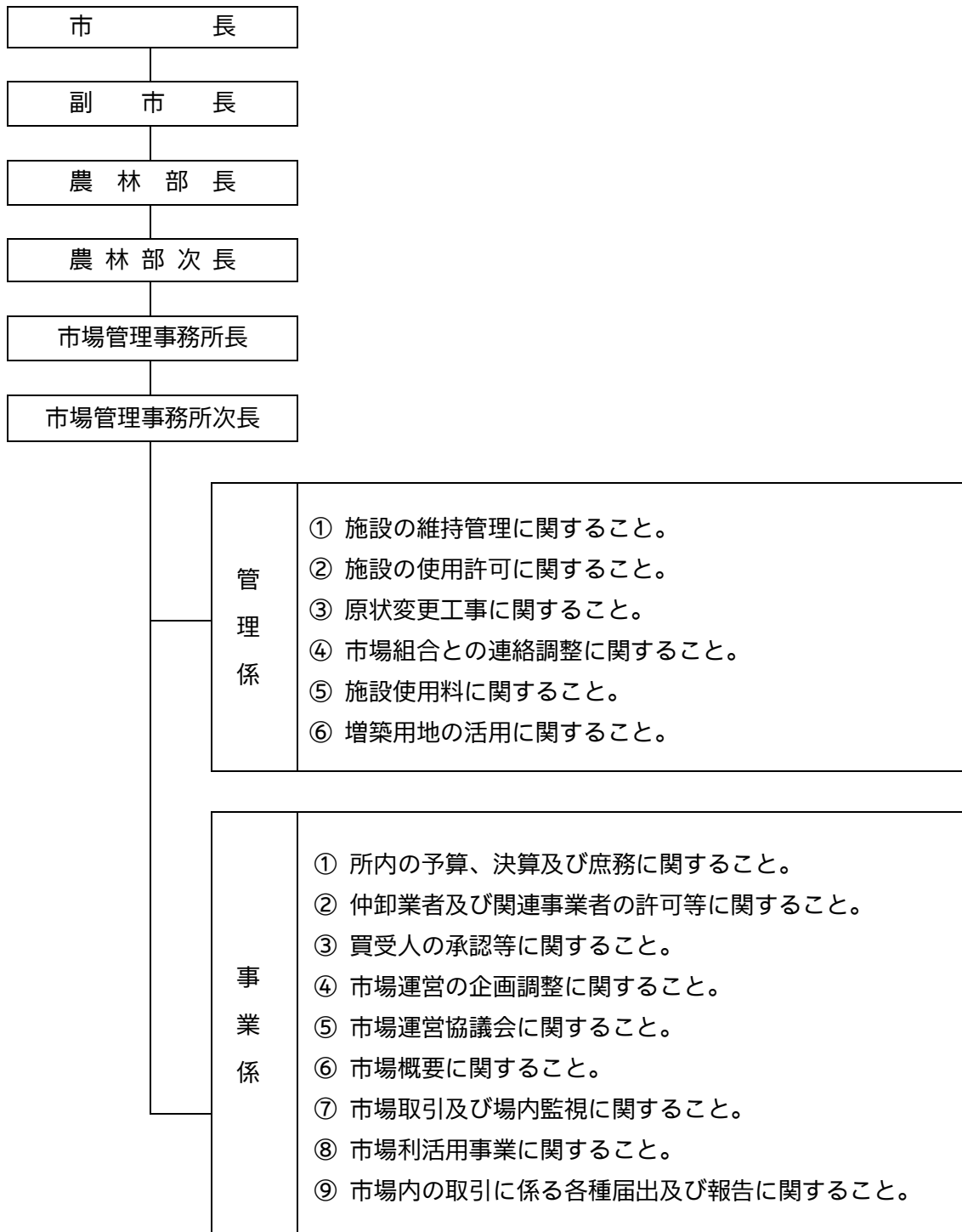
(4) 開場日数（令和2年）

- ・ 水産物部：258日
- ・ 青果部：254日
- ・ 花き部：246日

8 市場見学者（令和元年度実績）

項目	行政機関	一般団体	学校関係	合計
件数	0件	4件	25件	29件
人数	0人	120人	1,670人	1,790人

9 組織図・事務分掌



10 市場運営協議会

市場運営協議会は、市場の適正かつ円滑な運営を図るため、郡山市総合地方卸売市場条例第82条に基づき設置された機関です。

委員数は18名以内、委員の任期は2年で、会長及び副会長を置くことに規定されています。

郡山市総合地方卸売市場運営協議会委員名簿

(R2.4.1 現在)

役職	氏名	選任区分	所属及び役職等
会長	遠藤 喜志雄	卸売業者	(株)郡山水産 代表取締役会長
副会長	橋本 孝子	生産者	福島さくら農業協同組合 郡山地区 女性部長
委員	遠藤 喜一	生産者	(有)郡山アグリサービス 会長
〃	降矢 敏朗	消費者	(有)降矢農園 代表取締役
〃	松岡 正	消費者	(株)エヌジェイアイ レストラン営業部 副部長
〃	池田 誠	学識経験者	(株)東邦銀行 郡山総合卸市場支店 支店長
〃	貴田岡 信	学識経験者	国立大学法人福島大学 経済経営学類長
〃	岡部 聡子	学識経験者	郡山女子大学 食物栄養学科准教授
〃	内藤 清吾	学識経験者	NPO法人プロジェクト福島屋商店 理事長
〃	草野 哲郎	卸売業者	(株)マルケイ青果市場 代表取締役社長
〃	阿部 吉作	卸売業者	(株)郡山大新青果 代表取締役
〃	菅野 栄一	卸売業者	郡山花き(株) 代表取締役
〃	山ノ井 秀夫	仲卸業者	郡山市場水産仲卸会 会長
〃	吉田 明	仲卸業者	郡山青果物仲卸組合 組合長理事
〃	飛田 喜男	買受人	郡山生花商組合 組合長
〃	渡邊 佳彦	関連事業者	郡山市総合地方卸売市場 関連店舗代表

1.1 入場業者及び団体

(R2.4.1 現在)

部門	区分	会社名	代表者名	
青果部	卸	株式会社山一中央青果卸売市場	代表取締役	岩崎 学
		株式会社マルケイ青果市場	代表取締役社長	草野 哲郎
		株式会社郡山大新青果	代表取締役	阿部 吉作
	仲卸	マスキン青果株式会社	代表取締役	増子 隆久
		株式会社大慶青果	代表取締役社長	吉田 明
		株式会社丸青過足青果	代表取締役社長	過足 美智子
		山一ベジフル株式会社	代表取締役	増岡 芳文
有限会社アケボノ青果	代表取締役	永島 紀俊		
水産物部	卸	株式会社郡山水産	代表取締役	遠藤 一弥
	仲卸	株式会社八代水産	代表取締役	八代 晴意
		株式会社東心水産	代表取締役	山ノ井 秀夫
		有限会社平野屋水産	代表取締役	野崎 真義
		株式会社郡山第一水産	代表取締役	土屋 常正
		株式会社山吉	代表取締役	山吉 隼人
株式会社共栄水産	代表取締役	庄子 信夫		
花き部	卸	郡山花き株式会社	代表取締役	菅野 栄一
	仲卸	有限会社花きち	代表取締役	渡辺 佳子
関連事業者		郡山冷蔵製氷株式会社	代表取締役社長	安藤 昇
		株式会社郡山市場配送センター	代表取締役	遠藤 喜志雄
		株式会社ミヤパック郡山営業所	代表取締役	曾我 和彦
		株式会社鈴畜中央ミート	代表取締役社長	菅原 恭司
		株式会社福島中央鶏卵市場	代表取締役	室野井 豪二
		郡山海産物商業協同組合	代表理事	小野塚 次男
		郡山青果商業協同組合	理事長	橋本 和夫
		有限会社丸大商事	代表取締役	上ノ内 信之
		株式会社丸佳	代表取締役	渡邊 佳彦
		有限会社フローラル・ビュー	代表取締役	渡辺 忠良
		有限会社市場食堂	代表取締役	会田 裕一
		郡山市総合地方卸売市場精算株式会社	代表取締役	遠藤 喜志雄
		株式会社東邦銀行郡山総合卸市場支店	支店長	池田 誠
		株式会社ワイ・ピー・シー	代表取締役	矢野倉 健
		株式会社松栄運送	代表取締役	山崎 吉太郎
		株式会社マルエム	代表取締役	過足 和茂
	東日本フード株式会社	代表取締役社長	辰田 浩二	
各種団体		郡山市総合地方卸売市場組合	組合長	遠藤 喜志雄
		郡山青果物仲卸組合	組合長理事	吉田 明
		郡山市場水産仲卸会	会長	山ノ井 秀夫

1 2 令和2年度郡山市総合地方卸売市場特別会計予算

《歳入の部》

(単位：千円)

科 目	予 算 額	説 明
使用料及び手数料	262,838	
使 用 料	262,836	施設使用料、占用料
手 数 料	2	車庫証明手数料
繰入金	479,693	
一般会計繰入金	479,693	
諸収入	99,519	
雑 入	99,519	使用光熱水料 私用電話料、その他
市債	922,300	
施設整備事業債	660,800	
資本費平準化債	261,500	
合 計	1,764,350	

《歳出の部》

(単位：千円)

科 目	予 算 額	説 明
総務費	958,024	
総務管理費	297,224	管理事務費、職員給与費
施設費	660,800	施設整備事業費
公債費	806,326	
公債費	806,326	償還元金、償還利子
合 計	1,764,350	

1.3 市場施設使用料

(1) 施設使用料

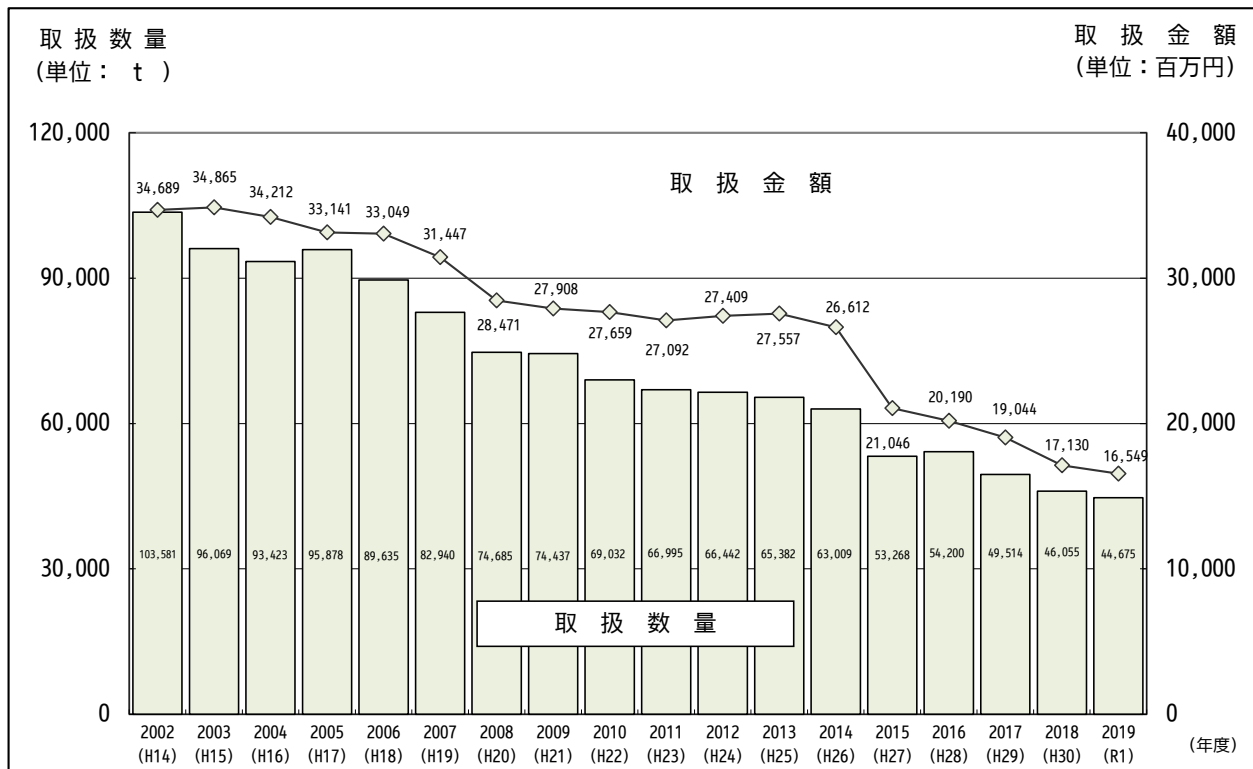
種 別		金 額	
卸 売 場 使 用 料	青 果 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額890円
		使用面積の合計が500平方メートルを超え1,500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額445円
		使用面積の合計が1,500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額223円
	水 産 物 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額996円
		使用面積の合計が500平方メートルを超え1,500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額498円
		使用面積の合計が1,500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額249円
	花 き 部	使用面積の合計が500平方メートル以下の場合	1平方メートルにつき 月額862円
		使用面積の合計が500平方メートルを超える場合	1平方メートルにつき 月額431円
	仲 卸 売 場 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額
水 産 物 部		1平方メートルにつき 月額	1,367円
花 き 部		1平方メートルにつき 月額	901円
買 荷 保 管 所 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	400円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	385円
	花 き 部	1平方メートルにつき 月額	370円
倉 庫 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	489円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	450円
	花 き 部	1平方メートルにつき 月額	375円
冷 蔵 庫 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	707円
	水 産 物 部	1平方メートルにつき 月額	896円
加 工 施 設 使 用 料	青 果 部	1平方メートルにつき 月額	465円
	水産物部(低温)	1平方メートルにつき 月額	859円
	水産物部	1平方メートルにつき 月額	482円
パ ナ ナ 発 酵 棟 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	567円
業 者 事 務 所 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	651円
関 連 商 品 売 場 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	632円
駐 車 場 使 用 料		1台につき 月額	1,000円
空 地 使 用 料		1平方メートルにつき 月額	70円

備考

- 1 使用面積に1平方メートル未満の端数があるときは、これを1平方メートルとして計算する。
- 2 使用期間に1月に満たない日数があるときは、月額使用料をその月の日数で除した額に、当該日数を乗じて得た額とする。

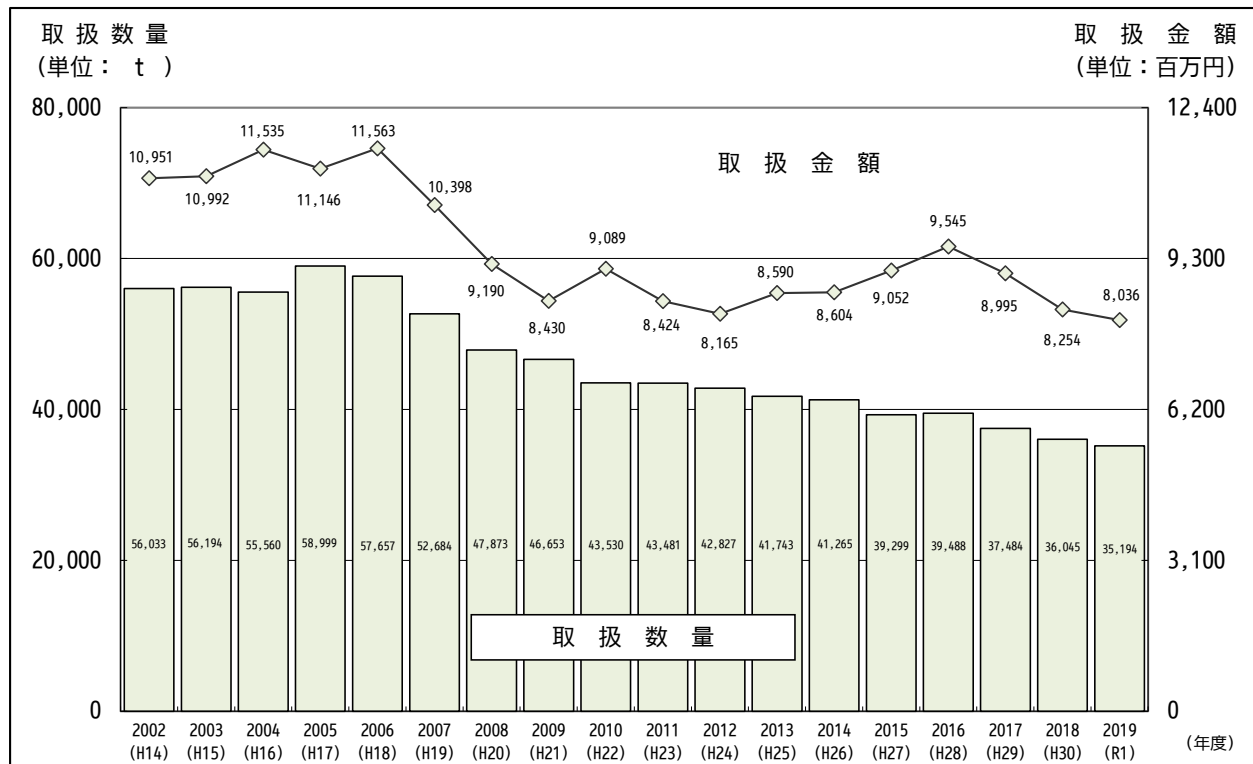
1.4 部門別・年度別取扱高推移表

(1) 青果部・水産物部・花き部合計

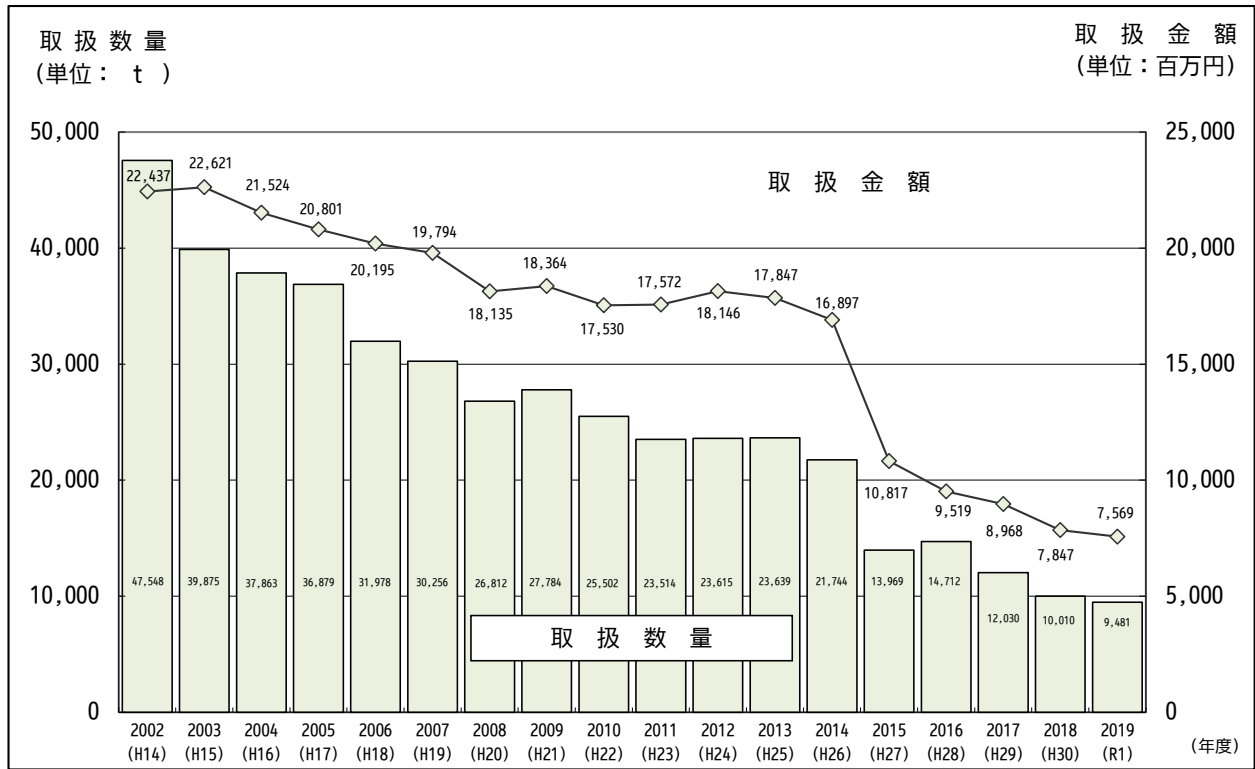


※取扱数量は花きの数量を除く

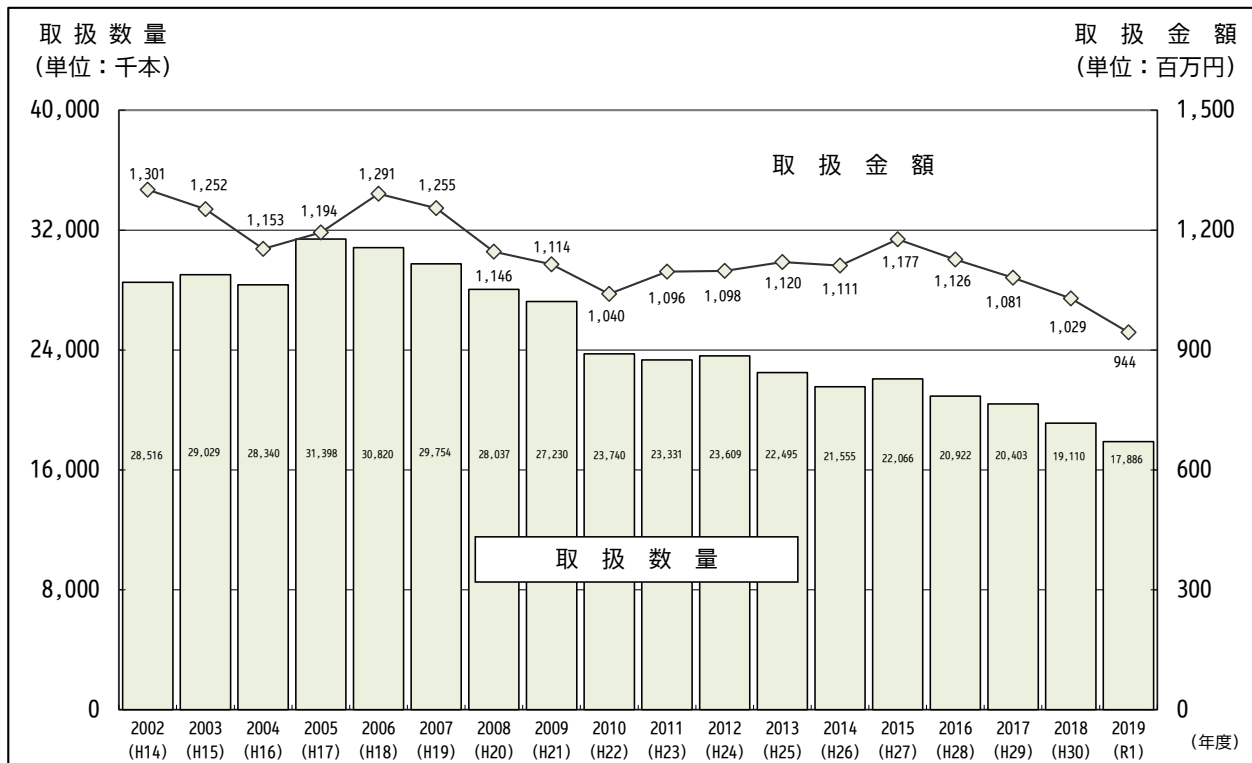
(2) 青果部



(3) 水産物部



(4) 花き部

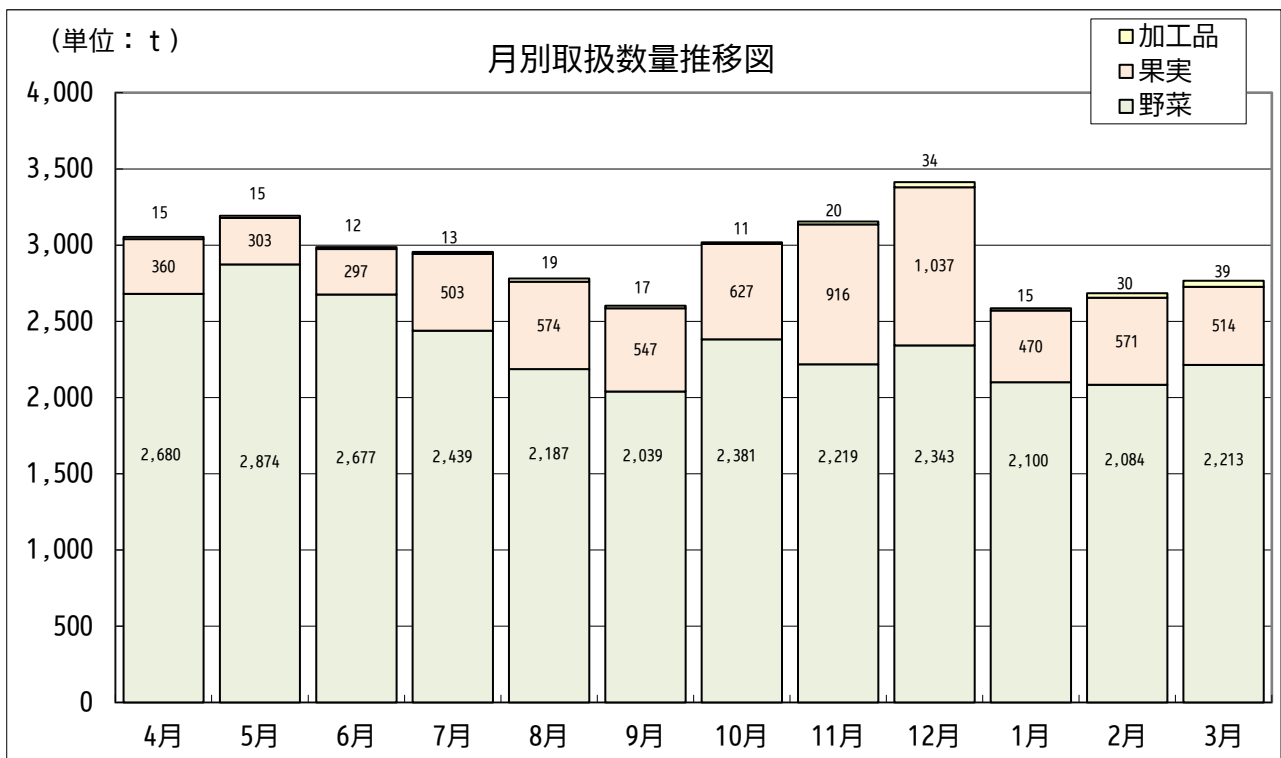


1.5 令和元年度取扱実績

(1) 青果部

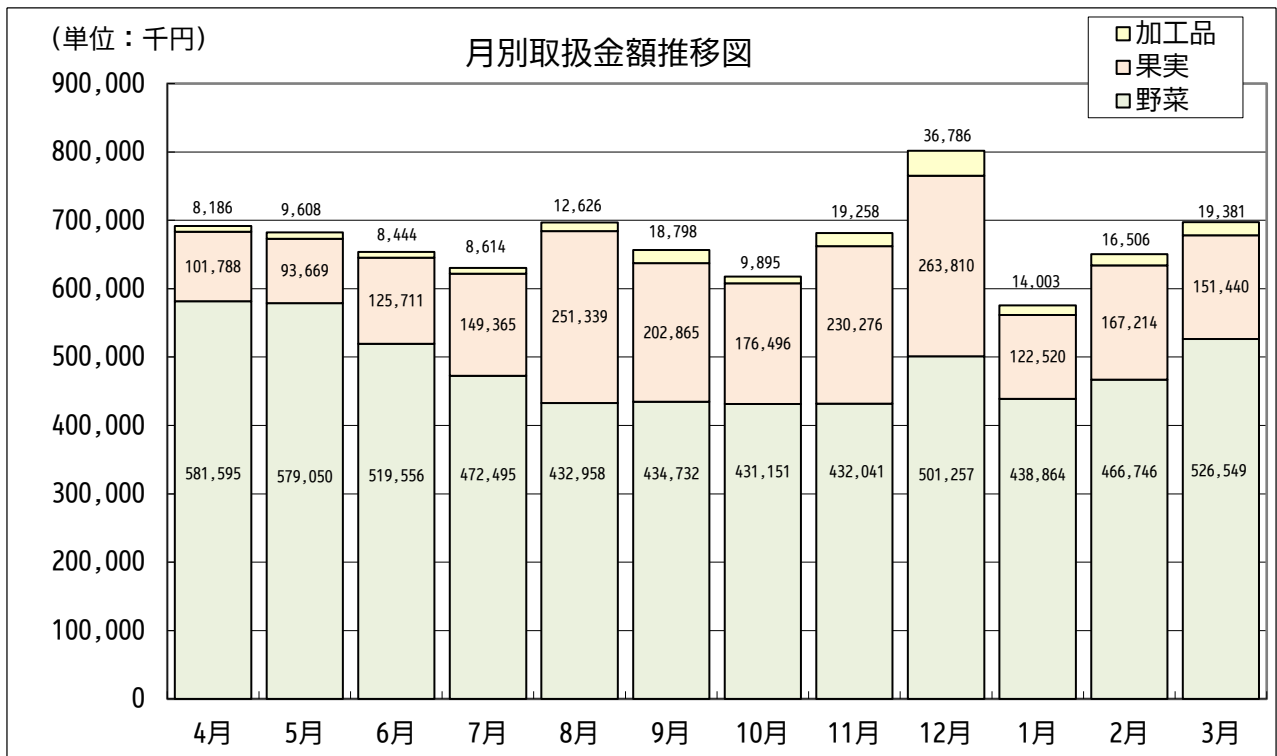
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		21	21	21	22	21
野 菜	数量(t)	2,680	2,874	2,677	2,439	2,187
	金額(千円)	581,595	579,050	519,556	472,495	432,958
	平均単価(円/kg)	217	201	194	194	198
果 実	数量(t)	360	303	297	503	574
	金額(千円)	101,788	93,669	125,711	149,365	251,339
	平均単価(円/kg)	283	309	423	297	438
加工品	数量(t)	15	15	12	13	19
	金額(千円)	8,186	9,608	8,444	8,614	12,626
	平均単価(円/kg)	546	641	704	663	665
総 計	数量(t)	3,055	3,192	2,987	2,955	2,780
	金額(千円)	691,569	682,327	653,711	630,475	696,923
1日平均 取扱高	数量(t)	145	152	142	134	132
	金額(千円)	32,932	32,492	31,129	28,658	33,187
	平均単価(円/kg)	227	214	219	214	251

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
21	22	21	23	19	21	22	255
2,039	2,381	2,219	2,343	2,100	2,084	2,213	28,235
434,732	431,151	432,041	501,257	438,864	466,746	526,549	5,816,995
213	181	195	214	209	224	238	206
547	627	916	1,037	470	571	514	6,719
202,865	176,496	230,276	263,810	122,520	167,214	151,440	2,036,494
371	281	251	254	261	293	295	303
17	11	20	34	15	30	39	239
18,798	9,895	19,258	36,786	14,003	16,506	19,381	182,107
1,106	900	963	1,082	934	550	497	762
2,603	3,019	3,154	3,414	2,584	2,684	2,766	35,194
656,395	617,543	681,575	801,854	575,388	650,467	697,370	8,035,595
124	137	150	148	136	128	126	138
31,257	28,070	32,456	34,863	30,284	30,975	31,699	31,512
252	205	216	236	223	242	252	228

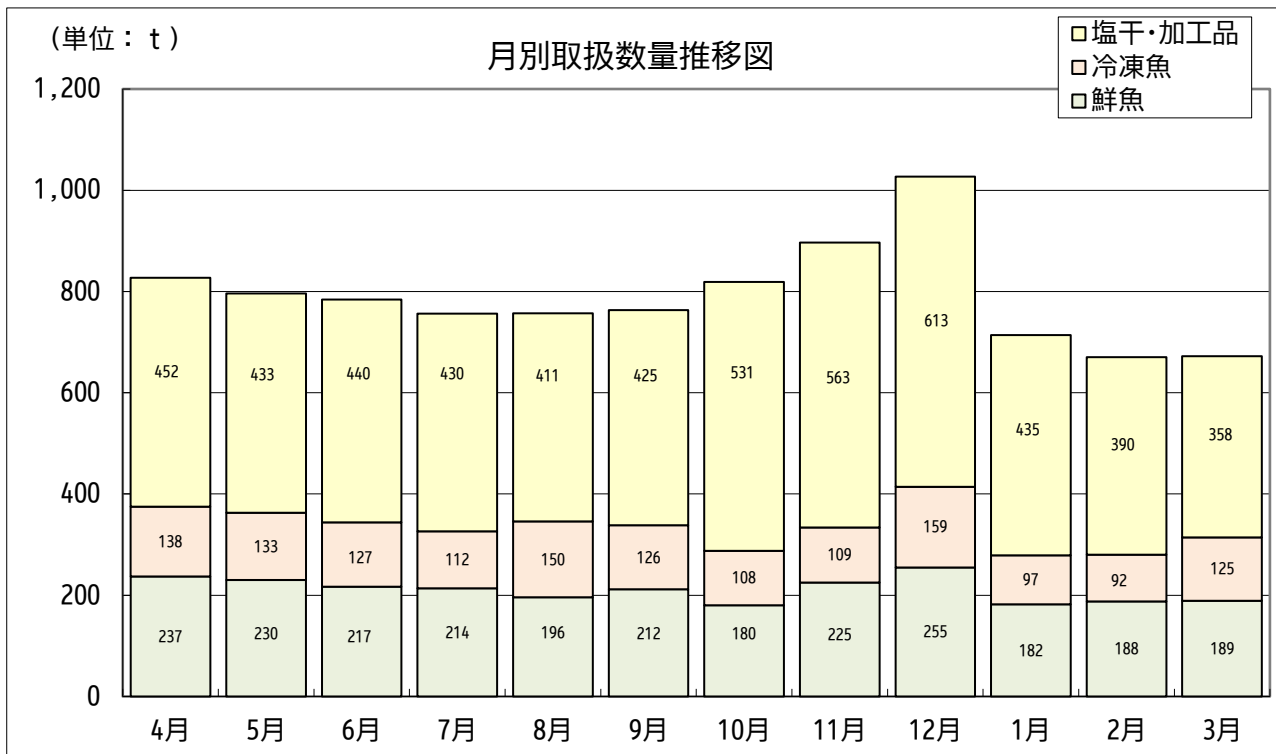
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(2) 水産物部

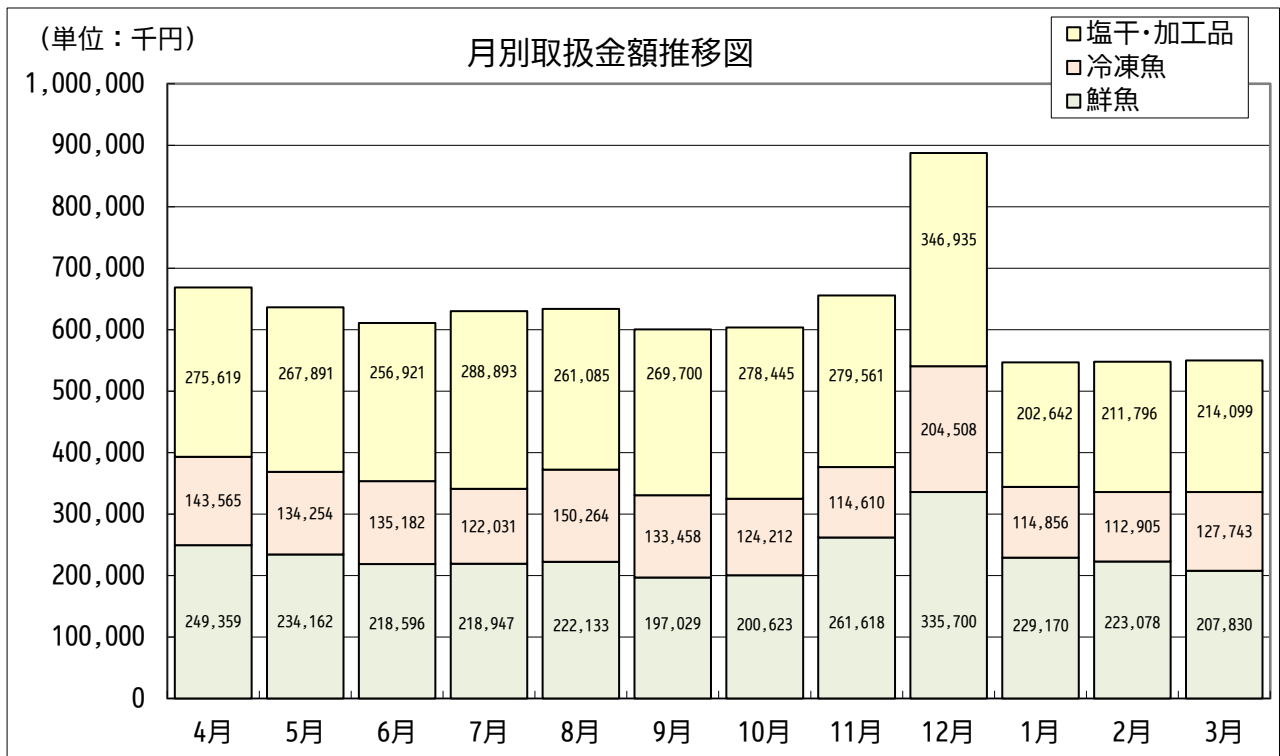
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		22	22	21	22	22
鮮 魚	数量 (t)	237	230	217	214	196
	金額 (千円)	249,359	234,162	218,596	218,947	222,133
	平均単価(円/kg)	1,052	1,018	1,007	1,023	1,133
冷凍魚	数量 (t)	138	133	127	112	150
	金額 (千円)	143,565	134,254	135,182	122,031	150,264
	平均単価(円/kg)	1,040	1,009	1,064	1,090	1,002
塩干・加工品	数量 (t)	452	433	440	430	411
	金額 (千円)	275,619	267,891	256,921	288,893	261,085
	平均単価(円/kg)	610	619	584	672	635
総 計	数量 (t)	827	796	784	756	756
	金額 (千円)	668,543	636,308	610,698	629,872	633,483
1日平均 取 扱 高	数量 (t)	38	36	37	34	34
	金額 (千円)	30,388	28,923	29,081	28,631	28,795
	平均単価(円/kg)	800	803	786	842	847

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
21	22	22	24	20	21	22	261
212	180	225	255	182	188	189	2,524
197,029	200,623	261,618	335,700	229,170	223,078	207,830	2,798,247
929	1,115	1,163	1,316	1,259	1,187	1,100	1,109
126	108	109	159	97	92	125	1,477
133,458	124,212	114,610	204,508	114,856	112,905	127,743	1,617,589
1,059	1,150	1,051	1,286	1,184	1,227	1,022	1,095
425	531	563	613	435	390	358	5,480
269,700	278,445	279,561	346,935	202,642	211,796	214,099	3,153,588
635	524	497	566	466	543	598	575
763	819	897	1,028	714	670	672	9,481
600,187	603,280	655,789	887,143	546,669	547,779	549,673	7,569,424
36	37	41	43	36	32	31	36
28,580	27,422	29,809	36,964	27,333	26,085	24,985	29,002
794	741	727	860	759	815	806	806

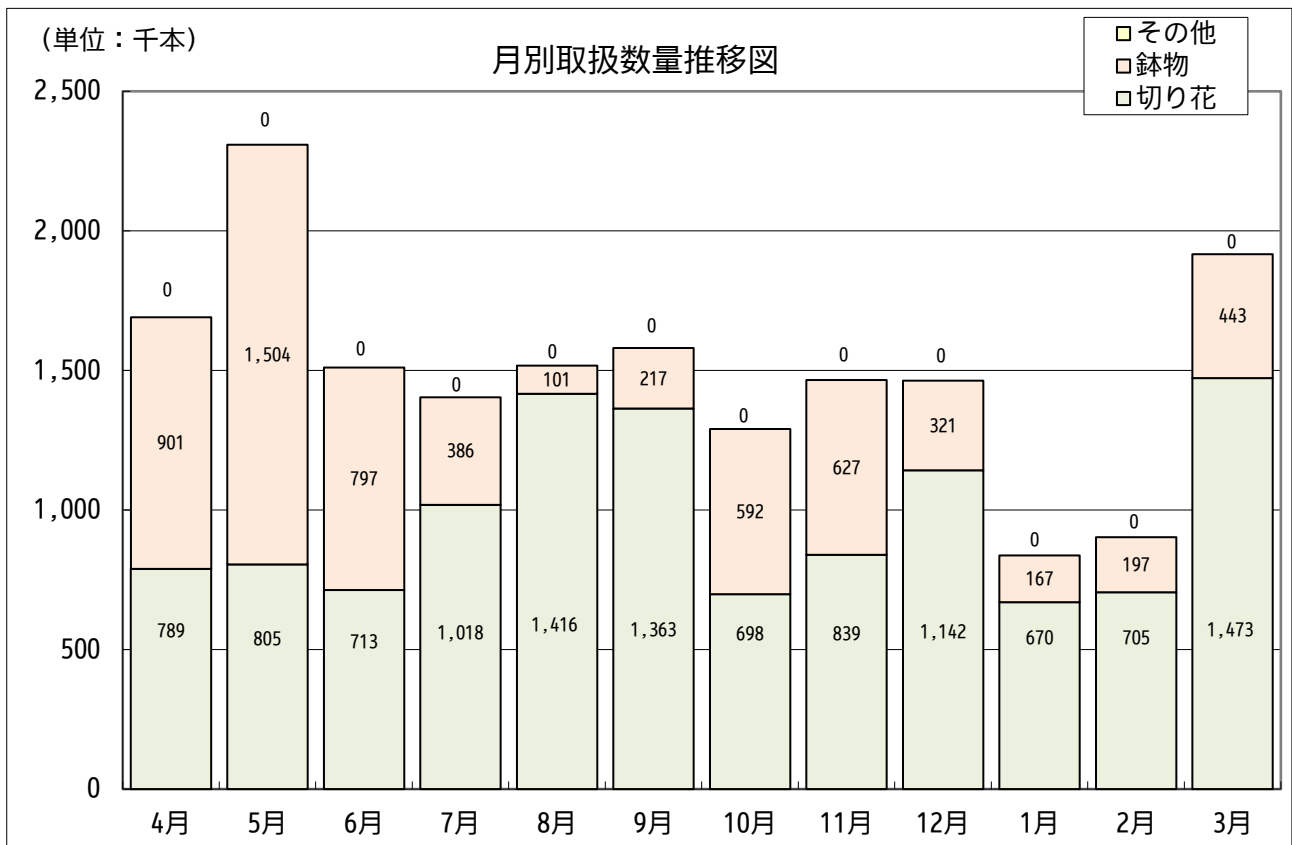
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(3) 花き部

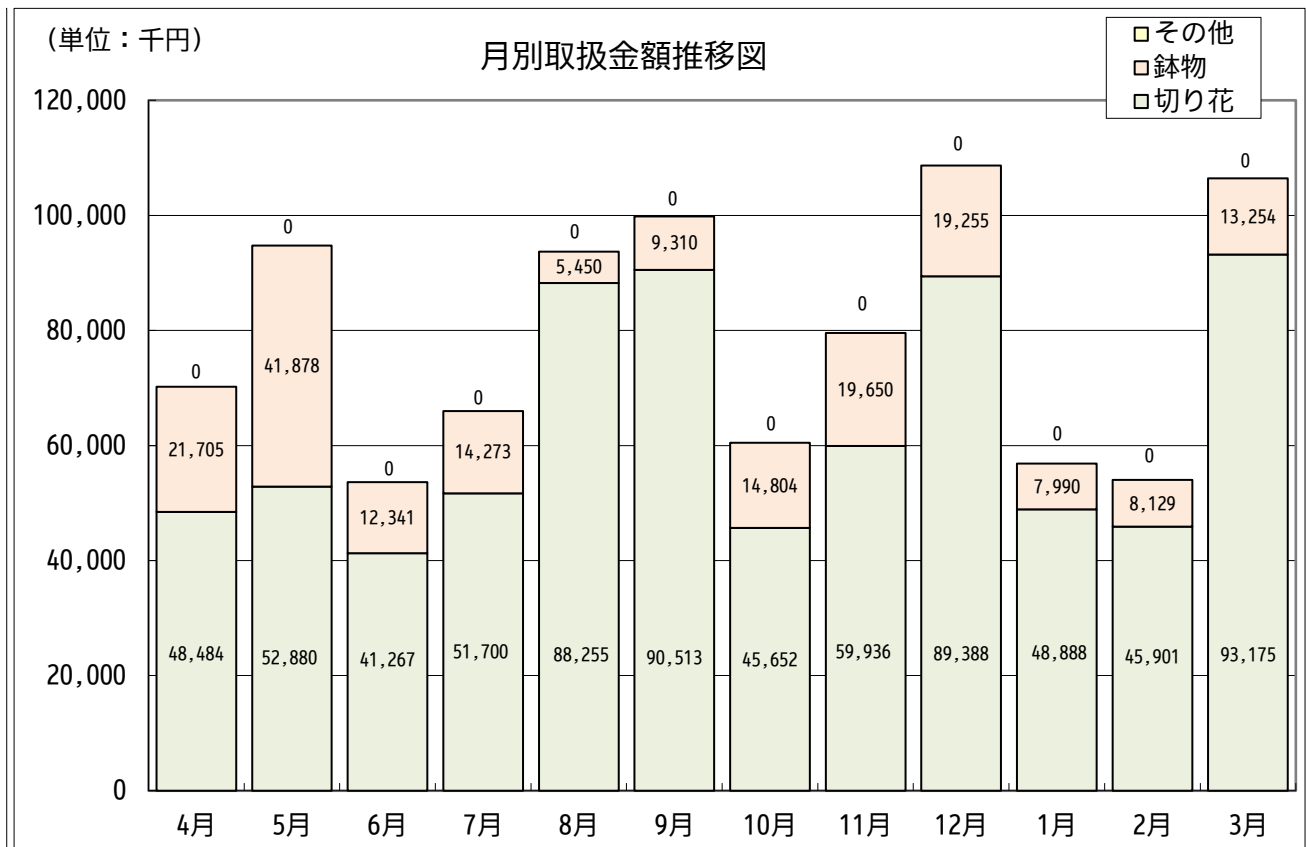
区 分		4月	5月	6月	7月	8月
開場日数(日)		21	21	19	22	20
切り花	数量(千本)	789	805	713	1,018	1,416
	金額(千円)	48,484	52,880	41,267	51,700	88,255
	平均単価(円/本)	61	66	58	51	62
鉢物	数量(千本)	901	1,504	797	386	101
	金額(千円)	21,705	41,878	12,341	14,273	5,450
	平均単価(円/本)	24	28	15	37	54
その他	数量(千本)	0	0	0	0	0
	金額(千円)	0	0	0	0	0
	平均単価(円/本)					
総計	数量(千本)	1,690	2,309	1,511	1,404	1,518
	金額(千円)	70,189	94,758	53,609	65,973	93,705
1日平均 取扱高	数量(千本)	80	110	80	64	76
	金額(千円)	3,342	4,512	2,822	2,999	4,685
	平均単価(円/本)	42	41	35	47	62

※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
21	22	21	19	19	20	22	247
1,363	698	839	1,142	670	705	1,473	11,632
90,513	45,652	59,936	89,388	48,888	45,901	93,175	756,039
66	65	71	78	73	65	63	65
217	592	627	321	167	197	443	6,254
9,310	14,804	19,650	19,255	7,990	8,129	13,254	188,040
43	25	31	60	48	41	30	30
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
1,581	1,290	1,466	1,463	837	902	1,916	17,886
99,823	60,456	79,586	108,643	56,878	54,030	106,430	944,079
75	59	70	77	44	45	87	72
4,753	2,748	3,790	5,718	2,994	2,702	4,838	3,822
63	47	54	74	68	60	56	53

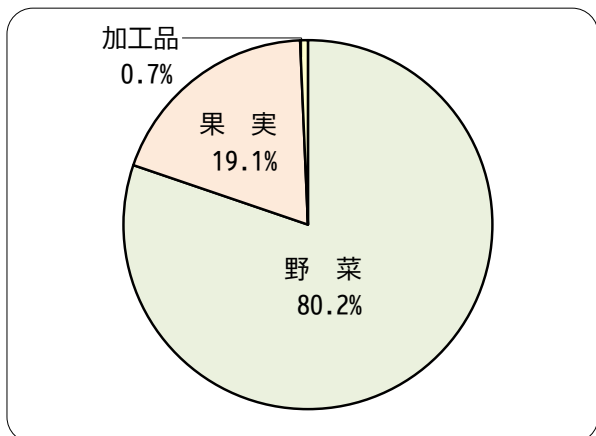
※各項目の数値は四捨五入の方法で集計しているため合計と一致しない場合がある



(4) 令和元年度部門別取扱数量・取扱金額対比表

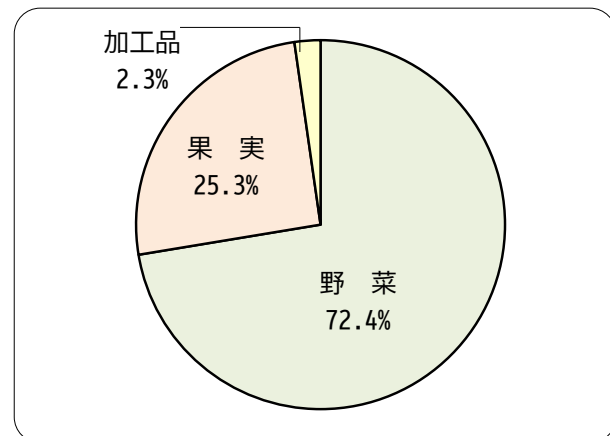
○青果部品目別取扱数量

野菜	28,235 t
果実	6,719 t
加工品	239 t



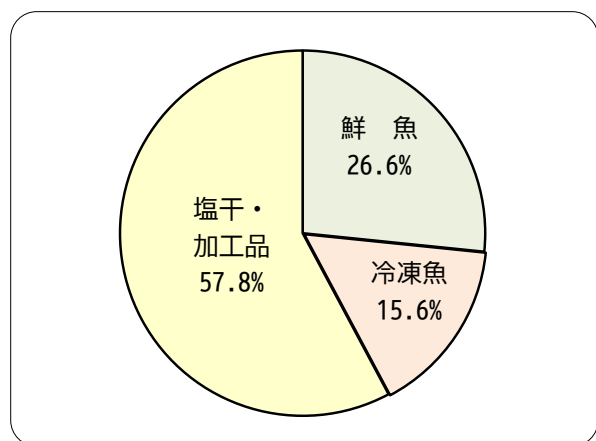
○青果部品目別取扱金額

野菜	5,816,995 千円
果実	2,036,494 千円
加工品	182,107 千円



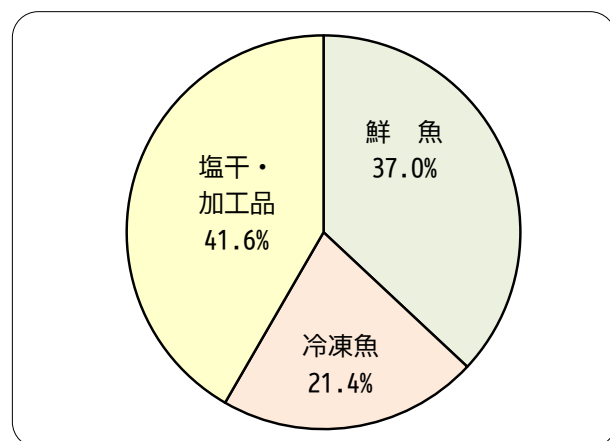
○水産物部品目別取扱数量

鮮魚	2,524 t
冷凍魚	1,477 t
塩干・加工品	5,480 t



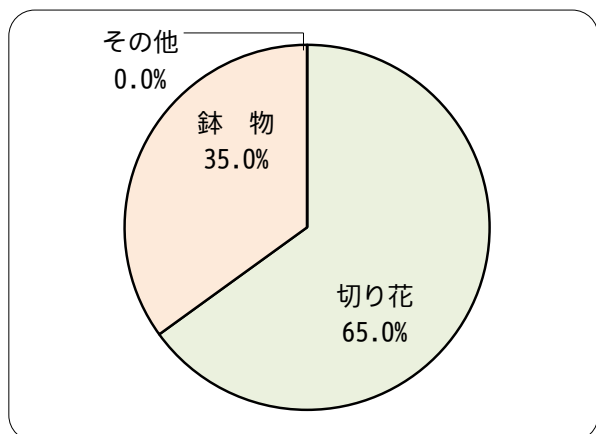
○水産物部品目別取扱金額

鮮魚	2,798,247 千円
冷凍魚	1,617,589 千円
塩干・加工品	3,153,588 千円



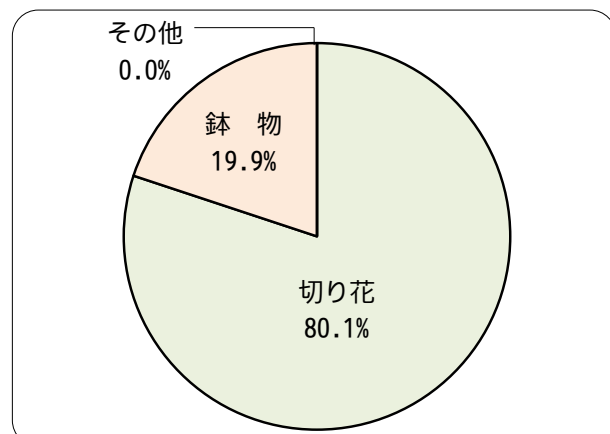
○花き部品目別取扱数量

切り花	11,632 千本
鉢物	6,254 千本
その他	0 千本



○花き部品目別取扱金額

切り花	756,039 千円
鉢物	188,040 千円
その他	0 千円



16 令和元年度市場利活用促進事業

(1)市場の朝市

「市場の朝市」を毎月第4日曜日（12月は第3日曜日）に開催しました。

水産物や野菜、果物などの新鮮な生鮮食料品を買い求める人や、季節に合わせたイベント等に参加する人など、会場は毎回たくさんの人で賑わいます。

また、9月には第120回記念朝市を開催し、模擬セリやマグロ解体即売会等の様々なイベントを実施しました。

なお、令和元年度の「市場の朝市」の来場者総数は約4万3千人となっております。

（※新型コロナウイルス感染症の流行により3月の朝市は中止としました。）



(朝市の様子)



(朝市の様子)



(朝市でのイベント：マグロの解体即売の様子)



(朝市でのイベント：模擬セリの様子)

(2)夏休み親子市場たんけん隊

令和元年7月28日(日)、小学生とその保護者を対象にした、夏休み親子市場たんけん隊を開催し、マグロ解体の見学、-30℃の冷凍庫の体験や模擬セリ等、活気のある早朝の市場を体験していただきました。



(マグロの解体の見学)



(模擬セリの様子)

(3)市場料理教室

令和元年2月14日(金)卸売市場内のクッキングルームにおいて、日本調理技術専門学校から講師を招き市場料理教室を開催しました。

テーマは「魚のさばき方」、メニューは「アジのお造り」で実施し、参加者は講師の説明に耳を傾けながら、市場で流通している素材を使った料理に挑戦しました。



(調理の様子)



(完成した料理：アジのお造り、なめろう)



21世紀を担う食と花の総合流通拠点

郡山市総合地方卸売市場

市場概要

令和2年7月1日発行

郡山市農林部総合地方卸売市場管理事務所

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字向原114番地
TEL：024-961-1140 FAX：024-961-1124
E-mail：sijoukanri@city.koriyama.lg.jp

郡山市ウェブサイト
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>



みんなの文字®

この制作物は、みんなの文字を使用しています。
みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。

楽都
東北のウイーン
郡山